

(お知らせ)

19. 7. 13

統合幕僚監部

オマーン湾で遭難した韓国船籍船舶からの遭難者救助について

1 一般状況

インド洋でテロ対策特別措置法に基づく協力支援活動実施中の派遣部隊は、中東オマーンの首都マスカットの東、約280kmの洋上（北緯23度54分、東経60度50分）において、韓国船籍の貨物船（ORCHID SUN）の遭難信号を受信した。このため、付近を行動中の海上自衛隊 護衛艦「すずなみ」の搭載ヘリコプターを現場海域に進出させ、遭難者を1名救助して、オマーン海軍艦艇へ引き渡した。

2 活動状況

活動状況は、次のとおり。

現地時間（日本時間）

7月12日

- 0552（1052） 派遣部隊、国際VHFにて遭難信号受信
- 0553（1053） 護衛艦「すずなみ」からヘリコプター発艦
- 0655（1155） ヘリコプター、遭難現場着
- 0723（1223） ヘリコプター、遭難者1名発見
- 0728（1228） 救助作業開始
- 0733（1233） 遭難者（国籍：フィリピン）をヘリコプターへ収容
（生命に別状なし。）
- 0810（1310） 遭難者をヘリコプターから補給艦「はまな」へ移送
- 0903（1403） ヘリコプター、現場海面に復帰、搜索を再開
- 1141（1641） 護衛艦「すずなみ」、補給艦「はまな」現場海面着、

搜索開始

- 1507 (2007) 遭難者1名を補給艦「はまな」からオマーン海軍艦艇へ移送
- 1550 (2050) オマーン海軍艦艇は海自が救助した1名を含む遭難者10名を乗せてマスカットに向けて現場海域を離脱
- 1855 (2355) その後、搜索救助活動を継続していたものの、遭難者を発見することなく、日没になったため、海自艦艇は搜索救助活動を終了し、オマーン国に搜索を引き継ぎ、元の任務に復帰した。